

第20回医療経済実態調査（医療機関等調査）報告 （平成27年11月4日公表）の概要

1. 調査の概要

（1）調査の目的

この調査は、病院、一般診療所、歯科診療所及び保険薬局における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的として、中央社会保険医療協議会が実施したものである。

（2）調査の対象及び客体

社会保険による診療を行っている全国の病院、一般診療所、歯科診療所及び保険調剤を行っている全国の保険薬局のうち1ヶ月の調剤報酬明細書の取扱件数が300件以上の薬局を対象とし、これらの医療機関等を、地域別等に層化し、次の抽出率で無作為に抽出した施設を調査客体とした。

なお、特定機能病院、歯科大学病院及びこども病院については、別途、全ての施設を調査客体とした。

病 院	1 / 3
一般診療所	1 / 20
歯科診療所	1 / 50
保 険 薬 局	1 / 25

（3）有効回答数、回答率

	調査対象 施設数	有効回答数（回答率）	（参考）前回調査の 有効回答数、回答率
病 院	2, 578	1, 365（52.9%）	1, 429（54.5%）
一般診療所	3, 111	1, 637（52.6%）	1, 715（50.6%）
歯科診療所	1, 130	585（51.8%）	645（55.1%）
保 険 薬 局	1, 763	911（51.7%）	915（54.6%）

（注）特定機能病院、歯科大学病院、こども病院は含まない。

（4）調査の時期

平成26年4月から平成27年3月末までに終了した事業年（度）（以下「前年（度）」という。）及び平成25年4月から平成26年3月末までに終了した事業年（度）（以下「前々年（度）」という。）の2期間について調査した。

2. 集計結果

(1) 1施設あたりの損益状況

① 一般病院（報告書 p10-13）

(全体) 報告書 p12

(単位：千円、%)

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	3,693,585	99.9%	3,750,362	99.9%	1.5%
II 介護収益	4,397	0.1%	4,383	0.1%	▲0.3%
III 医業・介護費用	3,759,894	101.7%	3,872,528	103.1%	3.0%
IV 損益差額（I + II - III）	▲61,912	▲1.7%	▲117,784	▲3.1%	—
施設数	816				
平均病床数	201				

(注1) 医業・介護収益に占める介護収益の割合が2%未満の病院の集計である。(特定機能病院等は含まない。)(以下同様)

(注2) 合計数値と内訳数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。(以下同様)

(注3) 「構成比率」は、「I 医業収益」と「II 介護収益」を合算した金額に対する割合である。(以下同様)

(注4) 「全体」とは、医療法人、国公立のほか、公的（日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会）、社会保険関係法人（独立行政法人地域医療機能推進機構、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合）、個人などを含む全体である。

(医療法人) 報告書 p10

(単位：千円、%)

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	1,902,370	99.8%	1,944,130	99.9%	2.2%
II 介護収益	3,156	0.2%	2,718	0.1%	▲13.9%
III 医業・介護費用	1,865,427	97.9%	1,908,862	98.0%	2.3%
IV 損益差額（I + II - III）	40,099	2.1%	37,987	2.0%	—
施設数	419				
平均病床数	135				

(国立) 報告書 p10

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	5,873,231	100.0%	5,887,452	100.0%	0.2%
II 介護収益	0	0.0%	0	0.0%	—
III 医業・介護費用	5,677,496	96.7%	5,906,935	100.3%	4.0%
IV 損益差額(I+II-III)	195,736	3.3%	▲19,483	▲0.3%	—
施設数	32				
平均病床数	362				

(注)「国立」とは、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構が開設する病院、国立高度専門医療研究センターのことである。

(公立) 報告書 p10

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	5,071,744	100.0%	5,156,924	99.9%	1.7%
II 介護収益	2,125	0.0%	2,704	0.1%	27.2%
III 医業・介護費用	5,497,280	108.3%	5,741,042	111.3%	4.4%
IV 損益差額(I+II-III)	▲423,410	▲8.3%	▲581,414	▲11.3%	—
施設数	155				
平均病床数	262				

(注)「公立」とは、都道府県立、市町村立、地方独立行政法人立病院である。

〔参考〕(国公立を除く全体) 報告書 p13

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	3,243,087	99.8%	3,295,029	99.8%	1.6%
II 介護収益	5,180	0.2%	5,020	0.2%	▲3.1%
III 医業・介護費用	3,234,205	99.6%	3,308,585	100.3%	2.3%
IV 損益差額(I+II-III)	14,062	0.4%	▲8,536	▲0.3%	—
施設数	629				
平均病床数	177				

	前々年 (度)		前年 (度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	5,208,897	100.0%	5,281,934	100.0%	1.4%
II 介護収益	1,761	0.0%	2,241	0.0%	27.3%
III 医業・介護費用	5,528,119	106.1%	5,769,430	109.2%	4.4%
IV 損益差額 (I + II - III)	▲317,460	▲6.1%	▲485,255	▲9.2%	—
施設数	187				
平均病床数	279				

② 一般病院の公立病院の新旧会計基準 (報告書 p14-15)

(注) 公立病院は、平成 26 年度から新会計基準が適用されたため、平成 25 年度は旧会計基準、平成 26 年度は新会計基準という二つの異なる計算方式に基づく回答が提出されている。一部の公立病院 (n=25) から、平成 26 年度について新旧両会計基準での提出があったため、その回答を集計したものである。

(公立 (H25 旧基準、H26 旧基準)) 報告書 p14

	前々年 (度) 【旧基準】		前年 (度) 【旧基準】		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	7,633,668	100.0%	7,758,587	100.0%	1.6%
II 介護収益	2,527	0.0%	2,173	0.0%	▲14.0%
III 医業・介護費用	8,281,669	108.5%	8,521,047	109.8%	2.9%
IV 損益差額 (I + II - III)	▲645,474	▲8.5%	▲760,287	▲9.8%	—
施設数	25				
平均病床数	376				

(公立 (H26 旧基準、H26 新基準)) 報告書 p14

	前年 (度) 【旧基準】		前年 (度) 【新基準】		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	7,758,587	100.0%	7,746,166	100.0%	▲0.2%
II 介護収益	2,173	0.0%	2,173	0.0%	0.0%
III 医業・介護費用	8,521,047	109.8%	8,768,832	113.2%	2.9%
IV 損益差額 (I + II - III)	▲760,287	▲9.8%	▲1,020,494	▲13.2%	—
施設数	25				
平均病床数	376				

(公立を除く全体) 報告書 p15

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	3,370,417	99.9%	3,420,532	99.9%	1.5%
II 介護収益	4,930	0.1%	4,777	0.1%	▲3.1%
III 医業・介護費用	3,352,489	99.3%	3,434,375	100.3%	2.4%
IV 損益差額(I+II-III)	22,857	0.7%	▲9,065	▲0.3%	—
施設数	661				
平均病床数	186				

③ 精神科病院(報告書 p16)

(全体) 報告書 p16

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	1,531,320	100.0%	1,553,575	100.0%	1.5%
II 介護収益	613	0.0%	628	0.0%	2.4%
III 医業・介護費用	1,526,328	99.6%	1,543,621	99.3%	1.1%
IV 損益差額(I+II-III)	5,605	0.4%	10,582	0.7%	—
施設数	183				
平均病床数	257				

④ 一般診療所（報告書 p32-35）

〔入院診療収益あり〕

（個人） 報告書 p32

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	215,484	98.5%	213,345	98.4%	▲1.0%
II 介護収益	3,347	1.5%	3,478	1.6%	3.9%
III 医業・介護費用	172,845	79.0%	173,445	80.0%	0.3%
IV 損益差額（I＋II－III）	45,987	21.0%	43,378	20.0%	—
施設数	30				

（注1）調査に回答した全ての医療機関等の集計である。（以下同様）

（注2）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（医療法人） 報告書 p33

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	352,253	96.5%	349,744	96.9%	▲0.7%
II 介護収益	12,704	3.5%	11,300	3.1%	▲11.1%
III 医業・介護費用	323,227	88.6%	322,564	89.3%	▲0.2%
IV 損益差額（I＋II－III）	41,730	11.4%	38,480	10.7%	—
施設数	56				

（全体） 報告書 p35

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	300,496	97.0%	297,919	97.3%	▲0.9%
II 介護収益	9,247	3.0%	8,416	2.7%	▲9.0%
III 医業・介護費用	270,018	87.2%	270,491	88.3%	0.2%
IV 損益差額（I＋II－III）	39,725	12.8%	35,844	11.7%	—
施設数	89				

（注）「全体」とは、個人、医療法人のほか、市町村立などを含む全体である。（以下同様）

〔入院診療収益なし〕

(個人) 報告書 p32

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	86,134	99.9%	86,262	99.9%	0.1%
II 介護収益	114	0.1%	128	0.1%	12.3%
III 医業・介護費用	59,830	69.4%	60,274	69.8%	0.7%
IV 損益差額(I+II-III)	26,418	30.6%	26,115	30.2%	—
施設数	783				

(注) 個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

(医療法人) 報告書 p33

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	156,398	98.0%	156,372	97.9%	0.0%
II 介護収益	3,264	2.0%	3,333	2.1%	2.1%
III 医業・介護費用	144,934	90.8%	145,636	91.2%	0.5%
IV 損益差額(I+II-III)	14,728	9.2%	14,069	8.8%	—
施設数	716				

(全体) 報告書 p35

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	120,135	98.6%	120,059	98.6%	▲0.1%
II 介護収益	1,648	1.4%	1,690	1.4%	2.5%
III 医業・介護費用	101,581	83.4%	102,170	83.9%	0.6%
IV 損益差額(I+II-III)	20,202	16.6%	19,579	16.1%	—
施設数	1,529				

[全体（入院診療収益あり及び入院診療収益なし）]

（個人） 報告書 p32

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	90,908	99.7%	90,951	99.7%	0.0%
II 介護収益	233	0.3%	251	0.3%	7.7%
III 医業・介護費用	64,000	70.2%	64,450	70.7%	0.7%
IV 損益差額（I + II - III）	27,140	29.8%	26,752	29.3%	—
施設数	813				

（注）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（医療法人） 報告書 p33

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	170,605	97.7%	170,399	97.8%	▲0.1%
II 介護収益	3,949	2.3%	3,911	2.2%	▲1.0%
III 医業・介護費用	157,867	90.4%	158,471	90.9%	0.4%
IV 損益差額（I + II - III）	16,687	9.6%	15,840	9.1%	—
施設数	772				

（全体） 報告書 p35

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	130,056	98.4%	129,842	98.4%	▲0.2%
II 介護収益	2,066	1.6%	2,060	1.6%	▲0.3%
III 医業・介護費用	110,846	83.9%	111,429	84.5%	0.5%
IV 損益差額（I + II - III）	21,276	16.1%	20,473	15.5%	—
施設数	1,618				

⑤ 歯科診療所（報告書 p36）

（個人） 報告書 p36

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	40,643	100.0%	40,761	100.0%	0.3%
II 介護収益	15	0.0%	15	0.0%	0.0%
III 医業・介護費用	27,916	68.7%	28,030	68.7%	0.4%
IV 損益差額（I + II - III）	12,742	31.3%	12,746	31.3%	—
施設数	431				

（注）個人立の歯科診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（医療法人） 報告書 p36

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	80,274	98.7%	80,832	98.5%	0.7%
II 介護収益	1,071	1.3%	1,208	1.5%	12.8%
III 医業・介護費用	74,670	91.8%	74,927	91.3%	0.3%
IV 損益差額（I + II - III）	6,675	8.2%	7,112	8.7%	—
施設数	109				

（全体） 報告書 p36

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	48,595	99.5%	48,794	99.5%	0.4%
II 介護収益	228	0.5%	256	0.5%	12.3%
III 医業・介護費用	37,327	76.5%	37,473	76.4%	0.4%
IV 損益差額（I + II - III）	11,497	23.5%	11,577	23.6%	—
施設数	545				

（注）「全体」とは、個人、医療法人のほか、市町村立などを含む全体である。

⑥ 保険薬局（報告書 p37）

（個人） 報告書 p37

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	100,450	100.0%	100,798	100.0%	0.3%
II 介護収益	35	0.0%	35	0.0%	0.0%
III 費用	87,597	87.2%	88,344	87.6%	0.9%
IV 損益差額（I + II - III）	12,889	12.8%	12,489	12.4%	—
施設数	66				
処方せん枚数	—		12,251		—

（注1）「処方せん枚数」とは、前年（度）1年間の1施設あたりの平均処方せん枚数である。（以下同様）

（注2）個人立の保険薬局の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（法人） 報告書 p37

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	187,146	99.9%	185,495	99.8%	▲0.9%
II 介護収益	271	0.1%	309	0.2%	14.0%
III 費用	170,339	90.9%	172,823	93.0%	1.5%
IV 損益差額（I + II - III）	17,078	9.1%	12,981	7.0%	—
施設数	845				
処方せん枚数	—		18,901		—

（全体） 報告書 p37

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	180,865	99.9%	179,359	99.8%	▲0.8%
II 介護収益	254	0.1%	289	0.2%	13.8%
III 費用	164,344	90.7%	166,702	92.8%	1.4%
IV 損益差額（I + II - III）	16,775	9.3%	12,946	7.2%	—
施設数	911				
処方せん枚数	—		18,419		—

（注）「全体」とは、個人、法人である。

(同一法人の保険調剤を行っている店舗数別) (報告書 p230)

○ 1 店舗 報告書 p230 (単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	145,625	99.9%	145,458	99.8%	▲0.1%
II 介護収益	137	0.1%	239	0.2%	74.5%
III 費用	143,323	98.3%	145,738	100.0%	1.7%
IV 損益差額 (I + II - III)	2,440	1.7%	▲42	0.0%	—
施設数	18				
処方せん枚数	—		17,071		—

○ 2～5 店舗 報告書 p230 (単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	175,310	99.9%	171,948	99.8%	▲1.9%
II 介護収益	235	0.1%	277	0.2%	17.9%
III 費用	162,998	92.9%	165,500	96.1%	1.5%
IV 損益差額 (I + II - III)	12,546	7.1%	6,725	3.9%	—
施設数	499				
処方せん枚数	—		18,106		—

○ 6～19 店舗 報告書 p230 (単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	176,486	99.9%	178,461	99.9%	1.1%
II 介護収益	179	0.1%	207	0.1%	15.6%
III 費用	159,447	90.3%	160,816	90.0%	0.9%
IV 損益差額 (I + II - III)	17,218	9.7%	17,852	10.0%	—
施設数	153				
処方せん枚数	—		18,940		—

	前々年(度)		前年(度)		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	234,488	99.8%	234,390	99.8%	0.0%
II 介護収益	467	0.2%	499	0.2%	6.9%
III 費用	203,570	86.6%	206,986	88.1%	1.7%
IV 損益差額(I+II-III)	31,384	13.4%	27,903	11.9%	—
施設数	175				
処方せん枚数	—		21,320		—

(2) 職種別常勤職員 1 人平均給料年 (度) 額等

① 一般病院 (報告書 p257-258)

(医療法人) 報告書 p258

(単位: 円、%)

	前々年 (度)			前年 (度)			金額の 伸び率
	平均給料年 (度) 額 (①)	賞与 (②)	①+②	平均給料年 (度) 額 (①)	賞与 (②)	①+②	
病院長	28,805,885	458,849	29,264,734	28,855,483	448,600	29,304,083	0.1%
医師	14,966,831	810,664	15,777,495	14,663,192	781,008	15,444,200	▲2.1%
歯科医師	8,990,060	477,736	9,467,796	8,974,818	470,297	9,445,115	▲0.2%
薬剤師	4,121,244	817,522	4,938,766	4,201,190	828,192	5,029,382	1.8%
看護職員	3,602,932	768,500	4,371,432	3,610,309	764,089	4,374,399	0.1%
医療技術員	3,274,256	740,659	4,014,916	3,310,890	742,596	4,053,486	1.0%

(注1) 「看護職員」とは、保健師、助産師、看護師、准看護師である。(以下同様)

(注2) 「医療技術員」とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、作業療法士など医療に関わる専門技術員(歯科衛生士及び歯科技工士は除く)である。(以下同様)

(注3) 合計数値と内訳数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。(以下同様)

(国立) 報告書 p257

(単位: 円、%)

	前々年 (度)			前年 (度)			金額の 伸び率
	平均給料年 (度) 額 (①)	賞与 (②)	①+②	平均給料年 (度) 額 (①)	賞与 (②)	①+②	
病院長	12,871,392	4,968,502	17,839,894	13,863,567	5,472,550	19,336,117	8.4%
医師	11,426,575	2,561,149	13,987,725	11,638,328	2,614,835	14,253,163	1.9%
歯科医師	11,960,210	2,877,943	14,838,153	12,418,891	3,220,076	15,638,966	5.4%
薬剤師	4,363,483	1,231,631	5,595,114	4,508,431	1,215,440	5,723,872	2.3%
看護職員	3,959,845	1,018,653	4,978,499	4,013,782	1,065,826	5,079,607	2.0%
医療技術員	4,242,552	1,094,846	5,337,399	4,186,035	1,150,988	5,337,023	0.0%

(注) 国立については、平成 25 年度をもって東日本大震災等に対処するための院長等に対する給与減額支給措置が終了したためと考えられる。

(公立) 報告書 p257

(単位: 円、%)

	前々年 (度)			前年 (度)			金額の 伸び率
	平均給料年 (度) 額 (①)	賞与 (②)	①+②	平均給料年 (度) 額 (①)	賞与 (②)	①+②	
病院長	17,093,620	3,408,713	20,502,333	17,214,686	3,476,175	20,690,861	0.9%
医師	12,630,325	2,167,951	14,798,277	12,798,110	2,142,073	14,940,182	1.0%
歯科医師	11,283,301	2,094,352	13,377,654	11,337,297	2,126,874	13,464,171	0.6%
薬剤師	4,744,827	1,285,012	6,029,839	4,793,922	1,285,972	6,079,894	0.8%
看護職員	4,243,592	1,170,476	5,414,068	4,330,591	1,170,197	5,500,787	1.6%
医療技術員	4,260,987	1,185,773	5,446,760	4,297,779	1,186,768	5,484,547	0.7%

② 一般診療所（報告書 p262）

（医療法人） 報告書 p262

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	29,193,803	81,405	29,275,208	29,050,195	84,919	29,135,115	▲0.5%
医師	11,645,907	203,306	11,849,213	11,935,719	216,919	12,152,637	2.6%
薬剤師	7,904,065	310,760	8,214,825	7,514,269	347,513	7,861,782	▲4.3%
看護職員	3,117,689	636,891	3,754,580	3,158,416	642,777	3,801,194	1.2%
医療技術員	3,435,419	615,446	4,050,865	3,364,465	633,516	3,997,981	▲1.3%

（注）「医療技術員」とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、作業療法士など医療に関わる専門技術員である。（以下同様）

（個人） 報告書 p262

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	—	—	—	—	—	—	—
医師	10,390,383	1,593,662	11,984,045	10,353,529	1,568,139	11,921,668	▲0.5%
薬剤師	5,035,198	1,130,509	6,165,707	4,928,731	1,166,943	6,095,674	▲1.1%
看護職員	2,778,043	568,520	3,346,563	2,819,537	576,196	3,395,733	1.5%
医療技術員	3,279,902	614,742	3,894,643	3,336,960	639,489	3,976,449	2.1%

③ 歯科診療所（報告書 p263）

（医療法人） 報告書 p263

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	12,921,649	44,476	12,966,125	12,662,137	16,193	12,678,330	▲2.2%
歯科医師	5,747,001	148,425	5,895,427	5,784,392	179,295	5,963,688	1.2%
歯科衛生士	2,383,489	321,542	2,705,030	2,472,186	370,648	2,842,835	5.1%
歯科技工士	4,255,289	527,294	4,782,583	4,109,323	494,879	4,604,201	▲3.7%
薬剤師	—	—	—	—	—	—	—

（個人） 報告書 p263

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	—	—	—	—	—	—	—
歯科医師	5,170,521	592,273	5,762,793	5,347,890	617,622	5,965,513	3.5%
歯科衛生士	2,309,122	321,455	2,630,577	2,366,567	327,092	2,693,659	2.4%
歯科技工士	3,063,774	441,330	3,505,104	3,233,787	499,407	3,733,194	6.5%
薬剤師	3,780,000	660,833	4,440,833	3,580,000	647,500	4,227,500	▲4.8%

④ 保険薬局（報告書 p264）

（法人） 報告書 p264

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
管理薬剤師	7,136,185	701,866	7,838,051	7,049,232	684,075	7,733,306	▲1.3%
薬剤師	4,059,974	538,322	4,598,296	4,202,309	541,341	4,743,650	3.2%

（個人） 報告書 p264

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
管理薬剤師	—	—	—	—	—	—	—
薬剤師	3,358,812	724,161	4,082,973	3,584,894	725,687	4,310,582	5.6%

[参考] 青色申告者の状況

1. 集計結果（1施設あたりの損益状況）

（1）一般診療所（個人）（報告書 p312）

[入院診療収益あり]

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	—	—	—	—	—
II 介護収益	—	—	—	—	—
III 医業・介護費用	—	—	—	—	—
IV 損益差額（I＋II－III）	—	—	—	—	—
施設数	0				

（注1）損益状況における数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。（以下同様）

（注2）「構成比率」は、「I 医業収益」と「II 介護収益」を合算した金額に対する割合である。（以下同様）

（注3）調査に回答した全ての医療機関の集計である。（以下同様）

（注4）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

[入院診療収益なし]

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	81,021	100.0%	81,753	100.0%	0.9%
II 介護収益	0	0.0%	0	0.0%	—
III 医業・介護費用	59,592	73.6%	60,278	73.7%	1.2%
IV 損益差額（I＋II－III）	21,429	26.4%	21,475	26.3%	—
施設数	19				

（注）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

〔全体（入院診療収益あり及び入院診療収益なし）〕

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	81,021	100.0%	81,753	100.0%	0.9%
II 介護収益	0	0.0%	0	0.0%	—
III 医業・介護費用	59,592	73.6%	60,278	73.7%	1.2%
IV 損益差額（I＋II－III）	21,429	26.4%	21,475	26.3%	—
施設数	19				

（注）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（2）歯科診療所（個人）（報告書 p313）

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	44,597	99.9%	45,299	99.9%	1.6%
II 介護収益	66	0.1%	53	0.1%	▲19.7%
III 医業・介護費用	35,687	79.9%	36,336	80.1%	1.8%
IV 損益差額（I＋II－III）	8,975	20.1%	9,017	19.9%	—
施設数	40				

（注）個人立の歯科診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。